

せ。全般駆策。渠に齋らせ。若狭と通りて因膳小糸を。承稟麥豆へい
す。すまうす。其餘の穀類。すまうす。兵糧もすまうす。ものと買集む
に。その價へ日本に送して貰ひ。すまうす。百姓へつぶ及ばず。衆下中村山
に移也。行暗と六秋毫劫くべ。利欲小迷へて意の隨く軍用金にそ
くと移へ兵糧過かと敗拂ひ。欲びともと鈍頑あれ。然ば財染ダ調
畧。去歎へ。次承下に買集り。初春の事に列もと移へ。又彼の入船小
刻もされば。今へ事も。や是れもく。欣然とく。歸帆す。明治六年正
九年の春。秀取城中の訴あら。右門え春をの意と撰び。一族つりけろ。
右門武部が捕縦家とぞも。大將と。義輔君。守ね。是安右衛門。
山形荒廢也。鶴枝加害也。丹下新左衛門。井戸新左衛門。井戸又右衛門
長和三郎左衛門。長恩佐濃守。野田左衛門尉。信平。率合を二五餘人。

二月廿六日。と。藝州の地を發行しむ。海と風帆。意の如く。一色被ふ
て着岸。固則。も取ふ入城。それを。義下中村かわひ。小競喜し。右
門勢のそなかに郷民们を率舉は。約合セ。餘人をも。内外を
ぐぐ。寧城せり。秀若躬と。駒。も。然ば度みがく。欲圖と。振ぐと。計議
と。ニ支。し。泊州の自方。南條。小鴨。大許。密使を遣す。隨分圍巻く毛利
家と。統合ひして。私妨を。し。罪危に及。す。那。胸。も。河。若。達。地。ふ。加
勢を。す。と。票。遣。も。そ。の。意。趣。泊州の欲強。されば。毛利。泊州。を。救。び
ゆ。。総令援。も。そ。つ。とも。急。り。る。事。ひ。も。あ。と。されば。た。右。も。際。に
も。取。城。中。兵。糧。盡。く。固。窮。そ。べ。と。計。役。く。勝。利。者。と。備。而。小。走。を。し。
流言。あ。き。せ。や。う。の。秀。若。六。万。餘。兵。を。そ。う。そ。固。州。境。へ。出。馬。す。し。
取。城。を。バ。壓。後。並。た。ち。ふ。泊。州。へ。お。も。む。と。毛。利。の。柵。塞。を。食。攻。破。室。